

（８）ハ西ブロック（八幡浜市、伊方町）

～産地づくり～

「美味しいみかんづくり」と「連年安定生産による生産量確保」を、生き残りをかけた産地の目標として掲げ、消費者はもとより「かんきつ」を取り巻く関係者に信頼されるブランド産地を維持できるよう、「うんしゅうみかん」の売上100億円、特産「清見」などの中晩柑類の売上50億円の目標を連年で達成していけるよう、組織連携を強化して「柑橘王国えひめ」を支える日本一のブランド産地の維持・発展を目指します。

～戦略品目や産地づくりの方向～

○生産基盤整備の推進

1 南予用水施設の整備

【取組】

- ① 畑地かんがい施設の整備
- ② 既存水利施設の老朽化対策の推進
- ③ マルドリ施設の整備

【成果】

- ① 畑地かんがい施設：1地区（高野地）
- ②
 - ・ 基幹水利施設：5地区
（八幡浜西南、八幡浜西南第3、八幡浜北、保内、三崎）
 - ・ 末端施設：6地区（灘、日土、川永田、真穴（第2・3）、瀬戸第2）
- ③ マルドリ施設：2地区（真穴第2・3）

2 農地地すべり対策の推進

【取組】

- ① 農地を保全するための地すべり対策の推進
- ② 農地地すべり対策施設の長寿命化のため、施設補修等を実施

【成果】

- ① 地すべり対策：2地区、排水路補修、水抜ボーリング
（日土2期、黒簗・名取西2期）
- ② 地すべり施設長寿強化対策：1地区、排水路補修（保内）

3 農地海岸保全施設整備の推進

【取組】

- ・ 農地海岸保全施設の長寿命化のため、施設補修等を実施

【成果】

- ・ 海岸保全施設補修：1地区、護岸補修（大江東）

4 生産拡大に向けた施設整備等

【取組】

- ① 国・県・市町の補助事業の活用を促進
- ② 鳥獣害防止対策施設（鉄筋柵、電気柵、くくり罠）の整備

【成果】

- ①
 - ・ 園内作業道の整備：11園地、718m
 - ・ かん水施設：17園地、33,629㎡
 - ・ ハウスの整備：4棟、1,787㎡
 - ・ モノレール：動力車37台、台車40台、レール3,486m
- ②
 - ・ 鉄筋柵の設置：45園地（5,428枚）
 - ・ 電気柵の設置：56園地（40セット）
 - ・ くくり罠の設置：560セット



スプリンクラーかん水



南水利用の新規マルドリ設置園



護岸補修状況



マルドリ栽培講習会

○日本一のブランドみかん産地の維持・発展

1 マルドリ栽培の推進

【取組】

- ・ マルチ被覆及びマルドリ栽培の導入・普及、

【成果】

- ・ マルチ被覆面積：295ha〔R5：305ha、R4：301ha、R3：303ha〕
- ・ マルドリ栽培：31ha〔R5：24ha、R4：23ha、R3：22ha〕
- ・ Sマルチモデル園設置（八幡浜市高野地、川上）

○日本一のブランドみかん産地の維持・発展

2 隔年結果防止・果皮障害対策

【取組】

- ① 南柑20号の浮皮防止対策の普及 ② 着果確保対策の普及

【成果】

- ① [・浮皮対策（ジベレリン+ジャスモン酸散布）について技術指導
・実施面積：53ha（R5：79ha、R4：63ha、R3：82ha）
② 芽花管理指導（5～6月）

3 優良園地の維持

【取組】

- ・基盤整備園の早期成園化

【成果】

- ・モデル園の苗木育成指導：2カ所

4 かんきつ鳥獣害対策の強化

【取組】

- ① 鳥獣害対策への強化 ② 捕獲技術の向上
③ 消費者へのPR活動

【成果】

- ① [・鳥獣被害額：57,572千円（R5：57,222千円、R4：57,617千円）
・鳥獣害被害の現状と問題点を把握（93戸）
・柵の設置、補強方法に関する資料を配布し周知（1,699戸）
・専門事業者を交えて検討会を開催し情報共有（7月、2月）
② [・撒き餌等最適餌の究明（8月～3月）
代替餌となる畜産用濃厚飼料（ルミノロジー）の実証
・検討結果を報告し情報共有（2月、3月）
代替餌の有効性をJA機関誌等で情報共有
③ [・地域の問題点をアンケート調査により把握（2月、53名）
地域ぐるみによる鳥獣害対策の必要性を把握
・商談会等を実施し消費宣伝（11月、2月）

5 GAP取得と普及

【取組】

- ・農業者・農業生産法人に対し、GAPの取得を啓発・支援

【成果】

- ・GAPの取得を検討している組織：1組織
・GAPを取得・更新している組織：2組織
・GAP取得に向けた支援の内容：更新に向けた指導（8回）

6 南予地域農業遺産推進協議会の活動支援

【取組】

- ・世界農業遺産登録に向けた活動を展開

【成果】

- ・ワークショップ（12/14）、柑橘農業フォーラム（1/25）による普及啓発



Sマルチモデル園設置



基盤整備園の早期成園化



イノシシに突破されない柵の設置・補強方法を指導



GAPに取組む生産者への支援



柑橘農業フォーラム



スマート農業シンポジウム

○未来型かんきつ生産に向けたスマート営農体系の確立

1 推進体制の整備

【取組】

- ・西宇和スマート農業推進協議会の活動支援

【成果】

- ・総会開催（5/16）により事業内容を検討
・スマート農業シンポジウムを開催（9/5）し、県内外にPR
・AI選果機検討会（9/12、2/3）で選果機利用上の問題点の抽出
・実績検討会（4月予定）で本年度事業内容の報告

2 収量・品質の向上

【取組】

- ・気象ロボットによる施肥・かん水制御技術の実証

【成果】

- ・取得データと生育状況を分析し、最適な水管理等について指導

○未来型かんきつ生産に向けたスマート営農体系の確立

3 経営・栽培管理の最適化

【取組】

- ・ スマート農業技術導入による経営上の効果分析

【成果】

- ・ 実証農家8戸の経営データ、作業日誌、ほ場環境データからスマート営農体系での経営指標を作成・普及

4 粗選果作業の労力削減

【取組】

- ・ AI選果機による選果作業の省力化

【成果】

- ・ 愛媛果試第48号（紅プリンセス）の果形や、粒化症等について学習を行い、正解率が70～94%に向上

5 防除作業の軽減

【取組】

- ・ ドローン防除の検証

【成果】

- ・ スプリンクラーと同等の防除効果があることを確認

6 労働負荷の軽減

【取組】

- ・ 簡易アシストスーツによる疲労度軽減

【成果】

- ・ 着用体験の実施、貸出による体験機会の提供



管内農家へのAI選果機導入事例紹介（B型選果機）



アシストスーツ試着体験

○地域特有の戦略的品目による産地の牽引

1 「清見」の品質向上

【取組】

- ① 果皮障害軽減に向けたカルシウム剤の散布
- ② 土壌診断による施肥指導
- ③ 清見の果皮障害軽減に向けたジベレリン散布の実証

【成果】

- ① カルシウム剤の効果に関する資料を作成、農家へ周知（7月）
- ② 土壌分析の実施と土づくり指導（9月）
- ③ 6年度は全般的に果皮障害が少なかったため、引続き調査を実施中

2 愛媛果試第48号（紅プリンセス）の技術確立

【取組】

- ① 栽培特性の調査、栽培上の問題点の抽出
- ② 早期成園化・す上がり果の発生軽減に向けた技術指導

【成果】

- ① 内裾部や上向きの結果枝で、す上がり果が発生しやすい傾向を確認
- ② 栽培講習会や個別指導時に、農家へ技術指導

3 媛小春の安定生産技術の確立と販売促進

【取組】

- ① 安定生産技術の確立
- ② 販売促進

【成果】

- ①
 - ・ 秋せん定の実証圃ほを設置し、翌年の着果状況を調査予定
 - ・ 夏季・秋季計2回の現地研修会を開催
 - ・ 会報誌の発行、ヒリュウ台苗木確保等により生産拡大を推進2.5ha、13 t [R5: 1.5ha、12t、R4: 1.3ha、6t]
- ②
 - ・ 首都圏アンテナショップで試食販売およびアンケートを実施
 - ・ 新たな加工品（酒造メーカーとコラボした果実酒）を開発

4 柑橘の輸出促進

【取組】

- ・ 防除暦の見直しと指導を実施するなど、柑橘の海外輸出を推進

【成果】

- ・ 台湾向け輸出：温州みかん：2.0t [R5: 2.0t、R4: 1.6t、R3: 1.6t]
中晩柑類：0.8t [R5: 1.3t、R4: 2.1t、R3: 2.1t]



ジベレリン実証試験



愛媛果試第48号の栽培管理指導



首都圏アンテナショップで試食販売

～地域づくり～

地域農業者が主体となった就農支援チームを各地区に設立し、移住就農者を確保・育成するとともに、集落営農法人の設立支援や新規就農者、大規模認定農業者、法人経営体の育成を通して、全国有数のかんきつ産地を次世代に継承します。

また、集落機能を維持するために、地域資源の保全活動はもとより、担い手の負担軽減を図るための安定した労働力の確保に向け、働きやすい農村環境を整備します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○新規就農者の確保・育成

1 新規参入者の確保

【取組】

- ・ アルバイター等への就農啓発活動

【成果】

- ・ 制度及び支援事業説明会：7回〔R5：6回、R4：3回、R3：2回〕
- ・ JA研修者：9人〔R5：6人、R4：7人、R3：7人〕
- ・ 就農フェアの参加：5回（内訳：東京1回、大阪3回、県内1回）
〔R5：6回、R4：6回、R3：4回〕
- ・ 就農相談者：31人〔R5：47人、R4：41人、R3：18人〕
- ・ 新規就農者数：14人（うち新規参入者：9人）
〔R5：17人（同：8人）、R4：25人（16人）、R3：36人（12人）〕

2 新規就農者の定着支援

【取組】

- ① マンダリン・シトラス合同スクールの開催
- ② 新規就農者等へのコンサル活動
- ③ 南予版営農類型の作成

【成果】

- ① マンダリン・シトラス合同スクール実施回数：6回
（内容：摘果、農作業安全、剪定等）〔R5：4回、R4：6回、R3：6回〕
- ② 就農3年後の定着率：100%
〔R5：83.3%、R4、3：100%〕
- ③ 年収1,000万円以上の新規就農者：10人
〔R5：7人、R4：3人〕

3 青年農業者活動の支援

【取組】

- ① プロジェクト活動支援
- ② 出前授業の実施
- ③ 移住就農者の確保活動
- ④ 各種交流会・研修会の実施

【成果】

- ① プロジェクト活動実施組織：1組織
〔R5：6組織、R4：7組織、R3：7組織〕
- ② 出前授業実施対象校：6校
〔東京都内小学校 対象児童数：240人
松山市内小学校 対象児童数：208人
八幡浜市内小学校 対象児童：29人〕
〔R5：11校、R4：8校、R3：15校〕
- ③ 就農相談会の参加（大阪）と就農PR動画放映
- ④
 - ・ 川之石高校との情報交換会
〔青年農業者及び高校生 参加者数：13人〕
 - ・ 放任園の伐採活動実施（三崎地区）
〔実施園地：2園地 青年農業者参加者数：5人〕
 - ・ みかん研究所視察
〔青年農業者及び新規就農者 参加者数：28人〕



就農フェアでの就農相談
（西宇和みかん支援隊）



シトラス講座・摘果講習会



重点農家への個別巡回指導



青年農業者の出前講座

○雇用労働力の確保によるブランド産地の維持・発展

1 新たな労働力確保・育成

【取組】

- ① 農福連携支援による労働力確保 ② 外国人材活用の提案

【成果】

- ① [・農福連携理解促進に向けた研修会：1回、セミナー：1回
・農福連携作業実践農家数：2戸（R5：1戸）
② [・外国人材活用に向けた視察や受入方法の検討
・農業法人でスリランカ人1人を受入れ

2 労働力安定確保

【取組】

- ① アルバイター地域定着支援 ② お手伝いプロジェクト活用
③ 地域・産地間連携

【成果】

- ① 管内の県外アルバイター：延べ478人
[R5：550人、R4：604人、R3：576人]
② 有償ボランティア参加者数：延べ484人
[R5：682人、R4：577人、R3：700人]
③ 地域内連携アルバイター数：13人
[R5：3人、R4：4人、R3：2人]



外国人材活用に向けた
検討会



労働力確保に向けた
アプリ活用説明会

○経営モデルの育成による産地振興

1 大規模経営体の育成

【取組】

- ① 大規模経営体の育成及び法人経営体の育成
② モデル地区の経営力強化支援

【成果】

- ① [・新規法人経営体数：2経営体
・大規模柑橘経営体数：133経営体
・新たに重点支援対象者が1戸増え、法人化へ向けた協議を開始
・地域計画策定に向けた支局農地活用効率化推進会議を開催し、目標地図作成に向けた取組みが進展（8月、1月）
② [・マルドリ施設の保守管理指導等により、早期成園化を支援
・（農）笑柑園ナカウラの園地継承を検討している担い手が研修を開始（1名）

2 経営継承支援

【取組】

- ・経営継承支援

【成果】

- ・第三者への園地継承について意向を把握
・第三者継承についてフォーラムにて紹介し、新規就農者確保に向けた取組を推進（9月）

3 一次産業女子の活動支援

【取組】

- ・一次産業女子組織「∞農Harvest」等の組織活動支援

【成果】

- ・「∞農Harvest」会員数：16人（R5から2人増加）
・研修会（Webデザイン研修、先進地視察研修）を実施（7/18、8/26）
・食農授業の実践支援（5回：10/17、10/24、11/12、1/17、1/28）による農業への理解促進
・他地区組織との交流研修会の実施（7/18、9/30）
・首都圏での就農相談会や伊方町での農業体験ツアー受入による、農業や地域のPR、認知度向上



マルドリ施設管理指導



フォーラムにて
第三者継承事例を紹介



農業女子による食農授業

4 6次産業化への取組支援

【取組】

- ① 新規商品の開発・改良に対する支援
- ② 販路開拓に対する支援

【成果】

- ① 加工品の開発支援：9件（R5,4：3件）
- ②
 - ・第6回ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバル in Japan 出展数：2,110点（表彰式：11/9、10）
 - ・飲食店等とのマッチング支援：4件
 - ・イベント等での商品PR活動：3件
- ③ 6次産業化サポートセンターとの相談指導：2件

5 農地流動化・農地維持活動等の支援

【取組】

- ・多面的機能に関する各種事業等により、各組織の共同活動を支援

【成果】

- ・実施された共同活動

多面的機能支払交付金

八幡浜市	29,187千円
	（12組織、985ha）
伊方町	10,623千円
	（12組織、369ha）

中山間地域等直接支払交付金

八幡浜市	294,486千円
	（44協定、2,133ha）
伊方町	67,869千円
	（31協定、602ha）



第6回マーマレード大会
表彰式



多面的機能活動